

# 環境報告書

2019

Environmental Report



株式会社  
ダイニチ

# 目次

ごあいさつ P.1

会社概要 P.2

環境基本方針 P.3

環境目標・実績 P.4

環境負荷低減の取り組みと実績 P.5~P.8

地球温暖化・省エネルギーの取り組み

省資源・廃棄物削減の取り組み

●水資源の有効活用

●廃棄物削減の取り組み

化学物質排出削減の取り組み

マテリアルフロー P.9

環境関連商品 P.10

2018年度環境活動 P.11~P.17

環境負荷低減のために

地域とともに

---

## ごあいさつ

---

### ダイニックは、製品の開発から廃棄まで 常に環境保全を考えた企業活動を推進しています。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩ることがダイニックのテーマです。

ダイニックの全従業員は、住みよい地球に向かうための環境基本方針を常に心掛け、技術と環境との調和を踏まえた、環境にやさしい企業活動に日々努めております。

私たちダイニックではコンプレッサーの更新および集約化、高効率型のボイラーや空調機の導入、配管設備の改修による蒸気ロスの削減、変電設備のキュービクル型への更新、蒸気使用量の見える化、J-クレジット制度の活用などの省エネルギー活動を行っています。また、滋賀工場内にある天文台「ダイニックアストロパーク天究館」では多賀町と協力し、地域の方々との「星空☆自然かんさつ会」などを開催し、天体観測と共に環境啓発活動も行っています。

今後も信頼される企業であり続けるために、次世代に向けて、全従業員が一丸となって環境対策への取り組みを強化し、地球環境と生活環境に配慮した環境関連商品の開発に取り組み、地球環境保全の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。



令和元年 8 月

ダイニック株式会社  
代表取締役社長

大石義夫

## 会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
株式	東京証券取引所一部上場
売上高	278億円(グループ含み404億円) (2019年3月31日現在)
従業員	599名(グループ含み1,386名) (2019年3月31日現在)
本社	京都本社:〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26番地 電話 075-313-2111(代) FAX 075-313-2116
	東京本社:〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 電話 03-5402-1811(代) FAX 03-5402-3146
営業所	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ(グループ含む)
工場	滋賀、埼玉、王子、富士、真岡、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ(グループ含む)
関連会社	国内6社、海外11社
事業内容	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、パッケージ用化粧クロス、銀行通帳用クロス、フィルムコーティング製品、表示ラベル用素材、複合フィルム、プリンターリボン、名刺プリンタ、文具紙工品、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート、カーペット、壁装材、天井材、ブラインド、自動車内装用不織布・カーペット、フィルター、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、容器密封用アルミ箔・蓋材、各種紙管紙器、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤、接着芯地、ファンシー商品、商品等運送・保管他(グループ含む)



# 環境基本方針

## 【ダイニックの環境基本方針】

ダイニック株式会社は、環境保全への取り組みを重要な経営課題と認識し、国内外の環境関連法規制を遵守するとともに、環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことが製造メーカーとしての責任と考えている。その考えを具体的に実行するため、開発、資材調達、製造、販売、流通、及び廃棄のそれぞれの段階で、以下の項目を徹底推進する。

- (1) 製品のライフサイクルを通じ、事業活動のすべての段階で環境負荷を低減する。
- (2) 省エネ、廃棄物の減少に積極的に取り組み、環境汚染の防止に努める。
- (3) 有害な化学物質による環境を損なうリスクを予防する。
- (4) 環境に関する事業活動についての情報を開示し、地域社会と協調しながら、環境保全活動を積極的に推進する。
- (5) 環境保全に対する教育を徹底し、環境への意識向上を図る。

ダイニック株式会社  
代表取締役社長 大石 義夫

### ■環境負荷低減の取り組み

製品の設計段階から、環境負荷の少ない素材、再利用しやすい素材を考慮することはもちろん、エネルギー負荷の少ない製造方法や、省資源、長寿命化を考慮した製品設計を行なっています。製造段階では、日々の製造現場において、省エネルギー、廃棄物削減に努め、環境負荷低減に取り組んでいます。販売段階では、当社製品をご利用いただくことで、お客様の環境負荷が低減できる環境対応製品を提案し、地球環境保全に貢献する取り組みを行なっています。

### ■地球温暖化対策・生物多様性保全の取り組み

ダイニック全体で省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素の排出を削減することにより、地球温暖化対策を推進しています。また、生物多様性保全についても、地球温暖化対策等のリスクへの対応により、地球環境との共生を目指して取り組んでいます。



## ● 環境目標・実績 ●

ダイニックでは環境中期目標（2018年度～2020年度）を設定し、推進しています。  
この設定目標に対する2018年度の取り組み実績は、以下の通りです。

### ● 2018年度の環境目標・実績一覧

取組項目	管理項目	2018年度				2019年度 目標	2020年度 最終目標	
		目標	実績	自己 評価	関連 ページ			
温暖化対策 省エネルギー	CO2 排出量削減	t-CO2	2013年度比 5%削減	-13.5%	◎	P5	2013年度比 6%削減	2013年度比 7%削減
	エネルギー 原単位の改善	原油 換算 ℓ/km	2017年度比 1%改善	-2.4%	◎	P5	2017年度比 2%改善	2017年度比 3%改善
省資源	水の使用量 削減	千t	2017年度比 1%削減	+7.4%	×	P6	2017年度比 2%改善	2017年度比 3%改善
廃棄物の3R	廃棄物量 の削減	t	2017年度比 1%削減	+1.2%	△	P7	2017年度比 2%改善	2017年度比 3%改善
	産業廃棄物 最終処分量 の削減	t	2017年度比 1%削減	+46%	×	P7	2017年度比 2%改善	2017年度比 3%改善
環境汚染防止	PRTR対象 化学物質 排出量削減	t	2016年度比 10%削減	-27%	◎	P8	2016年度比 15%削減	2016年度比 20%削減
環境関連商品	対売上比率 の向上	%	2017年度比 0.5%向上	+1.1%	◎	P10	2017年度比 1%向上	2017年度比 1.5%向上

#### <自己評価凡例>

- ◎：目標の2倍以上達成
- ：目標を達成
- △：目標は達成できなかったが目標に近づいた
- ×：目標に向けた改善ができなかった

## ● 環境負荷低減の取り組みと実績 ●

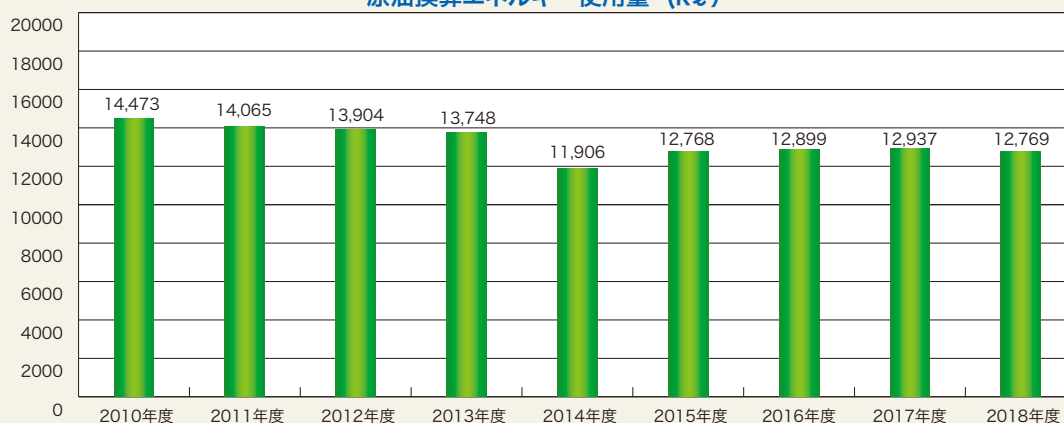
### 地球温暖化・省エネルギーの取り組み

生産活動ではエネルギーを消費し、製品を造りだしています。これに伴い、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を排出します。CO<sub>2</sub>の排出削減を目的に、生産工程でのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。各種省エネ設備の投資として、工場天井照明のLED化、変圧器や空調機の高効率型への変更、コンプレッサーの集約やインバータ化による効率改善、ボイラーの燃料転換（A重油⇒都市ガス）、蒸気配管改修等を計画的に実施しており、また設備の新設や更新などのエネルギー効率を良くする生産性改善も実施してきました。

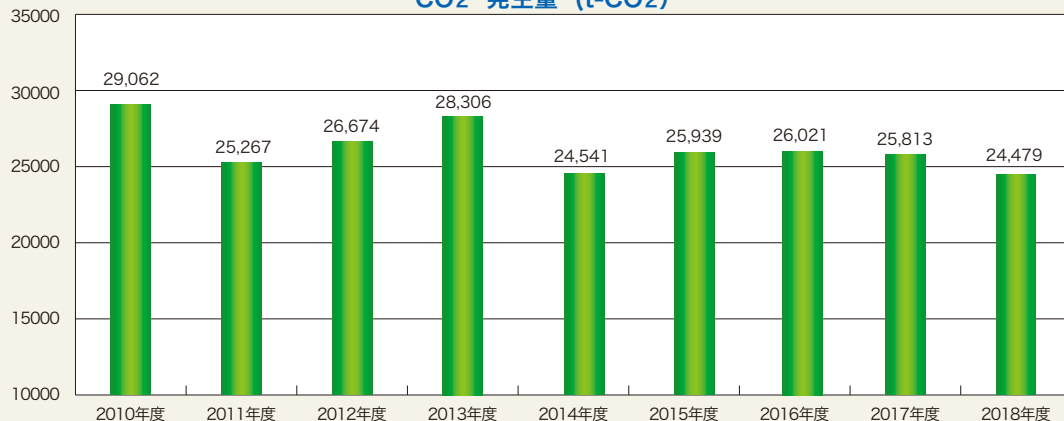
2018年度は生産数量の前年度比1.1%増加に対し、エネルギー使用量は1.3%減少しました。また、CO<sub>2</sub>排出量は5.2%減少、エネルギー原単位につきましても2%以上の改善となり、エネルギーを効率よく利用できました。

2019年度も、生産性改善や省エネ設備投資をさらに進め、さらなる改善に取り組んでゆきます。

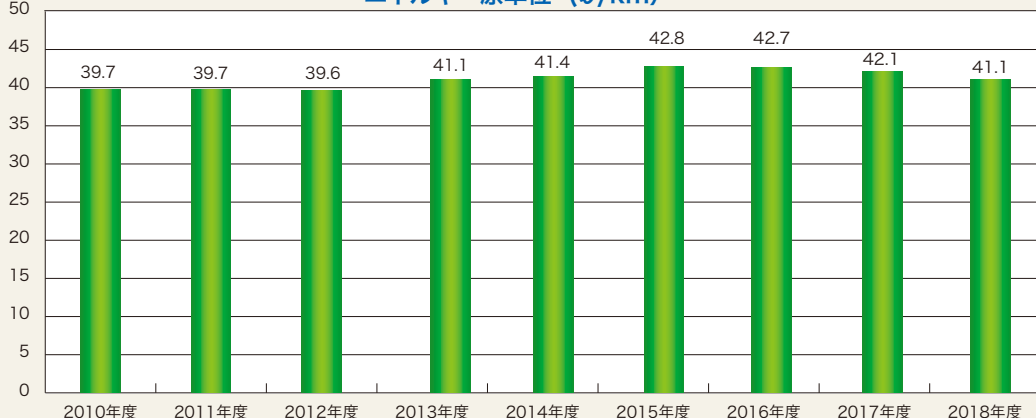
原油換算エネルギー使用量 (kℓ)



CO<sub>2</sub> 発生量 (t-CO<sub>2</sub>)



エネルギー原単位 (ℓ/km)

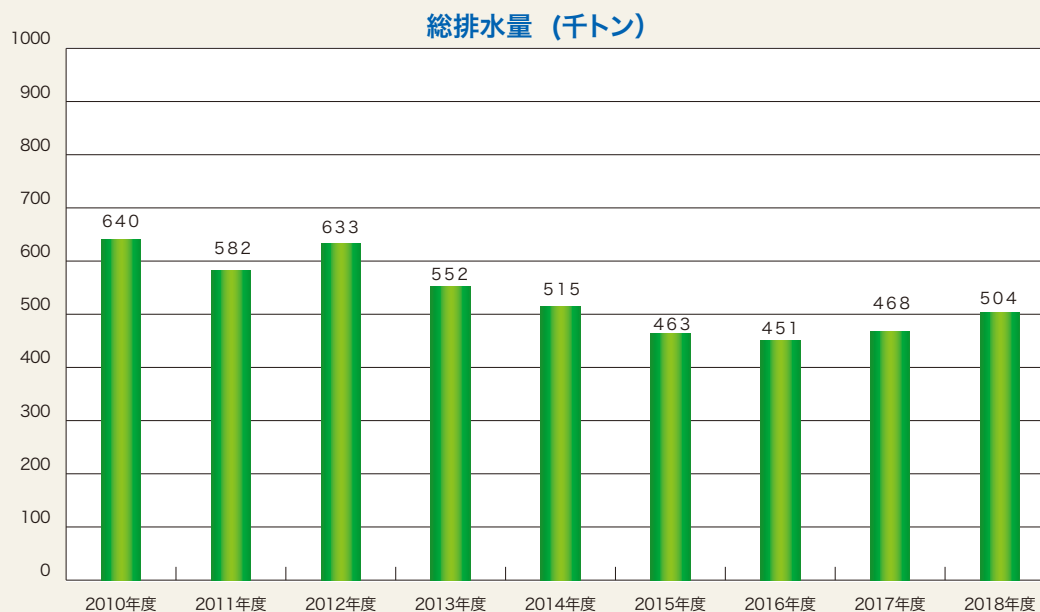
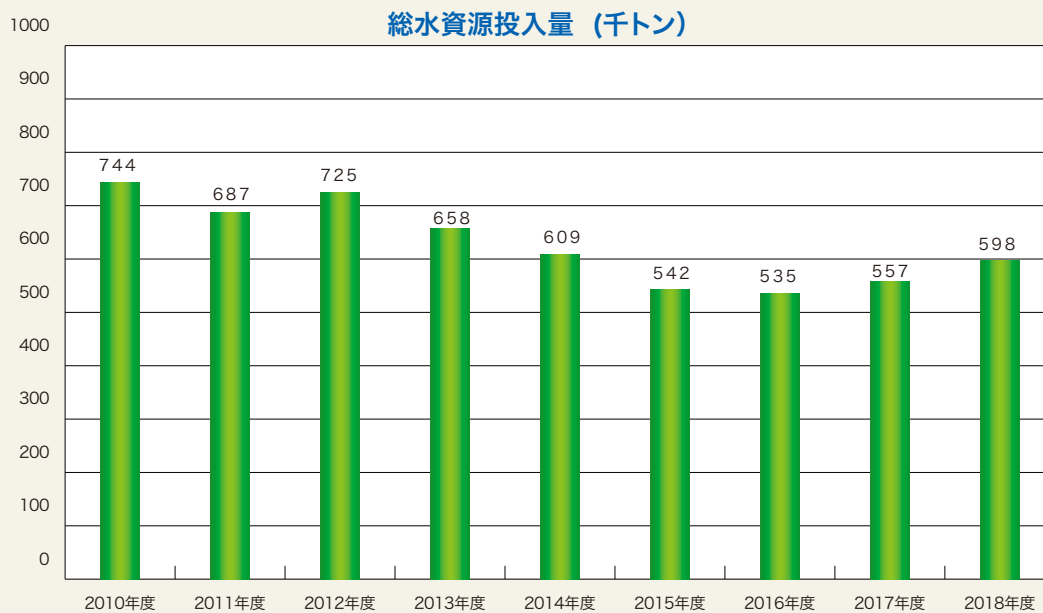


## 省資源・廃棄物削減の取り組み

### ●水資源の有効活用

生産工程で使用する洗浄水や、冷却水などのリサイクルを推進し、水資源の有効活用に取り組んできました。2018年度は埼玉工場の生産活動の増加に伴い、総水資源投入量が前年度比7.4%増、総排水量が前年度比7.7%増となり、2年連続で増加しました。

2019年度は、水資源の利用を見直し、この増加傾向に歯止めをかけるべく活動します。





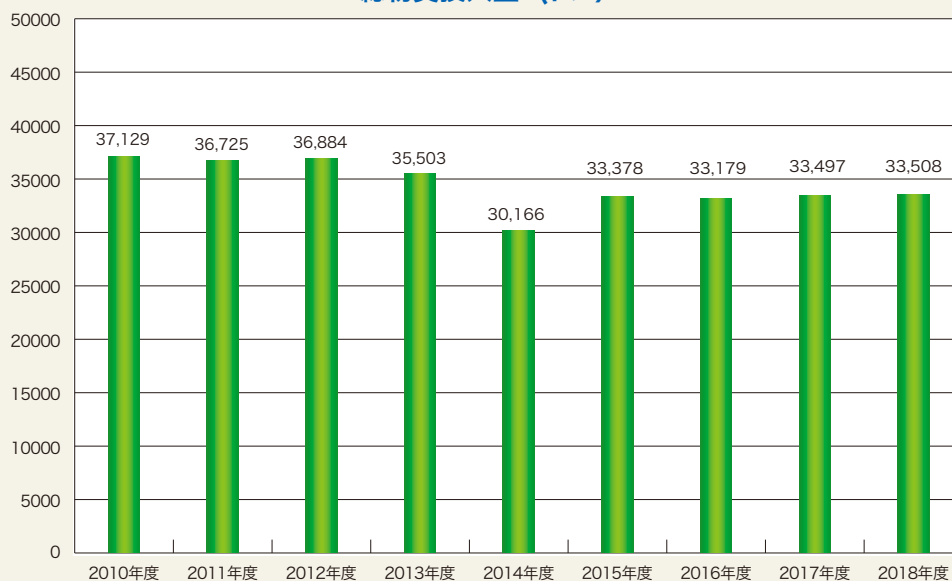
## ● 廃棄物削減の取り組み

地球環境保全のため、廃棄物の削減に取り組んでいます。廃棄物の発生を抑えるだけでなく、資源の有効利用の観点から、リユース・リサイクルを進めてきました。

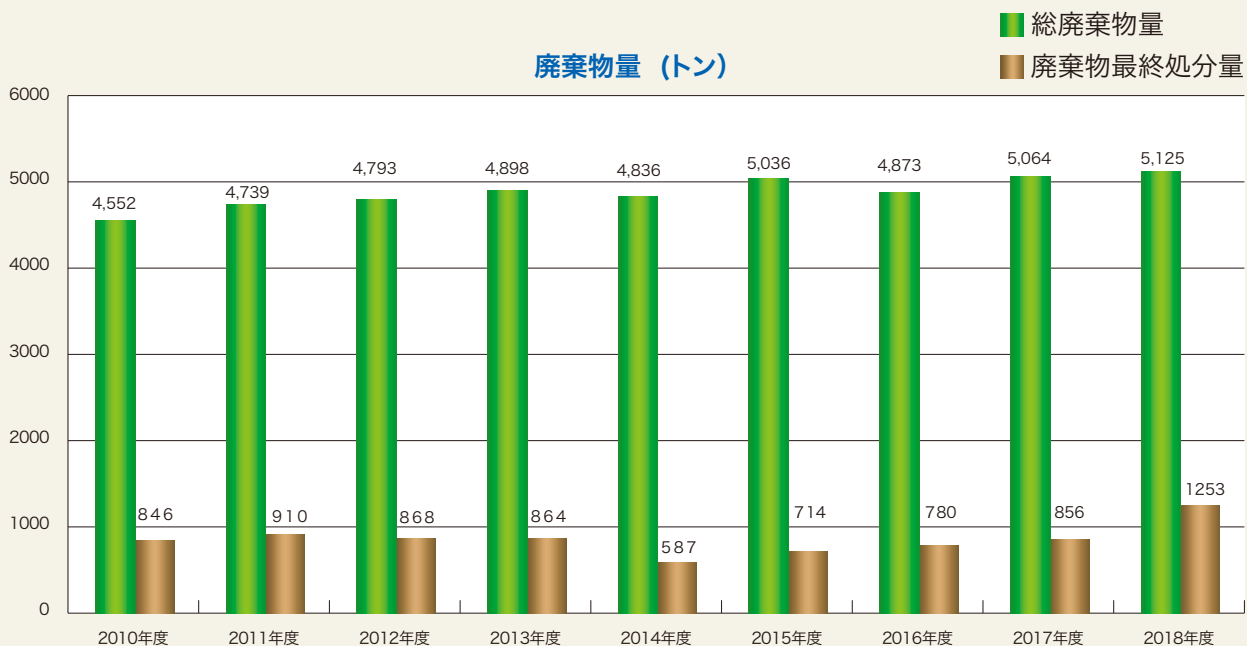
2018年度の総物質投入量は前年とほぼ同等の33,508トンでした。

総廃棄物量は前年度比1.2%増でしたが、廃棄物最終処分量は46%増と大幅な増加となりました。これは、埼玉工場や滋賀工場にて、従来リサイクル廃棄物として処理されていたものが、一部受け入れられなくなったことが原因です。海外における資源ごみの受け入れ規制がその一因と考えられます。

総物質投入量 (トン)



廃棄物量 (トン)



## 化学物質排出削減の取り組み

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に従い、製造工程で使用している化学物質の環境への排出量の届け出を行うとともに、削減に努めています。

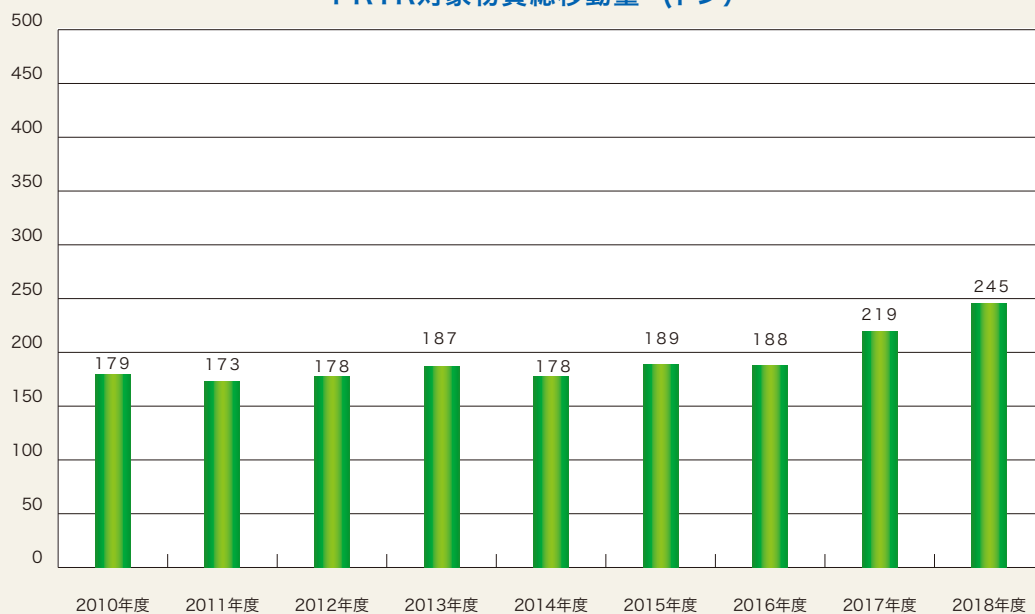
2018年度の排出量は前年度比21%減少、移動量は12%増加となりました。

排出量のほとんどが大気への放出ですが、埼玉工場に導入したVOC処理装置の効果で3年連続して排出量の大幅な削減となりました。

### PRTR対象物質総排出量（トン）



### PRTR対象物質総移動量（トン）



# 2018年度の事業活動における 環境負荷の全体像（マテリアルフロー）

ダイニクの企業活動・生産活動のために投入した原材料、エネルギー、水資源（INPUT）に対して、各種排出物（OUTPUT）から環境負荷を把握し、より効率的な事業活動によってさらなる資源の有効活用に取り組みます。



## 環境関連商品

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。当社では、「地球環境と生活環境に配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

### 【地球環境に配慮した商品】

#### ■ 環境への負荷を低減した商品

##### ▶ 脱塩ビ・脱プラスチック・脱溶剤各種商品

非塩ビファイル（エコファイル）、オレフィン系クロス、紙製振り込みカード、EVAコンテナ、ファイル・バインダー・手帳用表紙クロス水性化等

##### ▶ 再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した各種商品

再生紙使用紙クロス、教科書用紙クロス、背貼り用紙クロス、※再生ポリエステル使用カーペット等  
※エコマーク接着芯地等

##### ▶ 持続可能な天然資源を使用した商品

※FSC認証紙クロス（エパロン）、レーヨン100%カラー不織布（パネロンカラーシート）、PLA車両内装材（生分解性樹脂使用）等

#### ■ 処理処分を考慮した商品

##### ▶ 廃棄のし易さを考慮した商品

ラップ・アルミホイルのカット用紙刃、乳飲料・紙蓋材等

##### ▶ 省資源・3R（Reuse, Recycle, Reduce）に貢献する商品

トナーカートリッジ再生、TTRリユース、詰替え用サブカセット、自動車天井内装材（軽量化）、有機EL乾燥剤（長期使用性）等

### 【生活環境に配慮した商品】

##### ▶ 快適な空間を提供する商品

パネロン脱臭フィルター、抗菌消臭壁紙、マイナスイオン壁紙、抗ウィルス壁紙、空気清浄機用フィルター材、不織布床防音材等

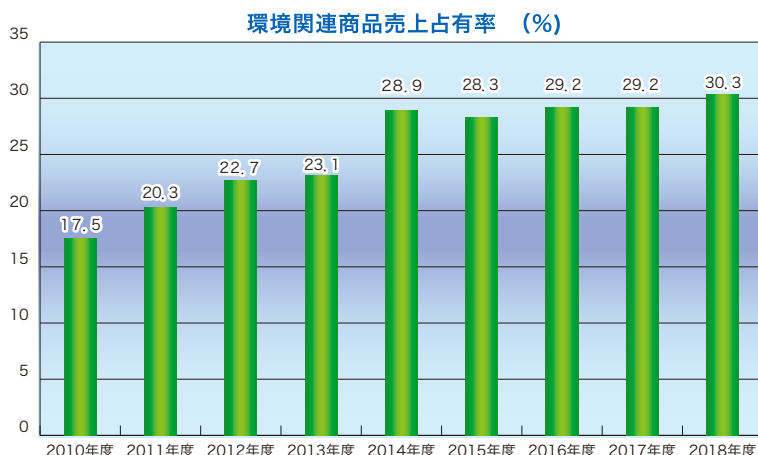
##### ▶ 健康・食品の鮮度保持に役立つ商品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、※ニックスieben表示用ラベル（エコテックス登録）、パップ材の離型フィルム等

##### ▶ 抗菌・消臭を付与した各種商品

抗菌装丁用クロス、抗菌包装材等

※印の商品は第三者認証商品です



これら環境関連商品の個別の内容説明は、当社ホームページに掲載していますのでご覧ください。

当社は「環境関連商品で社会に貢献する」をキーワードに積極的に商品の開発を行ってきました。その成果として、2018年度の環境関連商品の当社売上に占める比率は30.3%で初めて30%を超えました。今後もさらに、環境関連商品売上占有率を上げてゆくことで、社会に貢献してゆきたいと考えております。

## 2018 年度環境活動

### 環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

#### ●インバータ型コンプレッサーへ更新

埼玉工場のコンプレッサーをインバータ型コンプレッサーに更新しました。インバータ化によりモーターの回転速度を制御できるようになりました。エアー消費の少ない時にモーターの回転速度を抑制することにより、消費電力を大幅に削減することができます。  
(2018年5月更新)



#### ●コンプレッサーの集約化

真岡工場A棟のエアーコンプレッサーを5.5kWのレシプロ型4台から、22kWのスクリー型インバータ制御タイプ1台に集約しました。圧力センサーとインバータにより吐出し、圧力を一定に保つよう回転制御するため、従来に比べ夜間などの低負荷時の出力を抑え省エネ改善しており、年間8kℓの原油消費削減効果が出ています。

(2019年3月更新)



## 2018 年度環境活動

### 環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

#### ●高効率型ボイラー導入

真岡工場では、A重油蒸気ボイラーを都市ガス蒸気ボイラーに更新しました。従来の蒸気ボイラーに比べ、多位置制御化による燃焼効率の向上や送風機のインバータ化により大きく省エネ改善しています。またA重油から都市ガスへの燃料転換と省エネ改善により、従来に比べCO<sub>2</sub>排出量が30%以上削減出来ています。(2019年2月更新)



東京ガスのSteam fitを利用

#### ●蒸気ロスの削減

埼玉工場のC-3塗装機は、老朽化や機器故障による蒸気ロスが発生していました。蒸気配管設備を全面的に改修し、天然ガスの使用量を大幅に削減することができました。(2019年2月更新)



## 2018 年度環境活動

### 環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

#### ●サブ変電所をキュービクル型へ更新

埼玉工場では、停電事故のリスクの高い屋外変電設備をキュービクル型に更新しました。  
同時に電力機器を最新の高効率型に更新したため電力損失、CO<sub>2</sub>排出量を削減しています。

(2018年5月更新)



#### ●高効率型空調機の導入

滋賀工場では、エネルギー使用合理化事業者支援事業を活用して、空調機を高効率型に更新導入しました。

本設備の導入により、年間 10kℓ の原油消費削減効果が出ています。

(2018年9月更新)



第三工場事務所



第三工場製造エリア



# 2018 年度環境活動

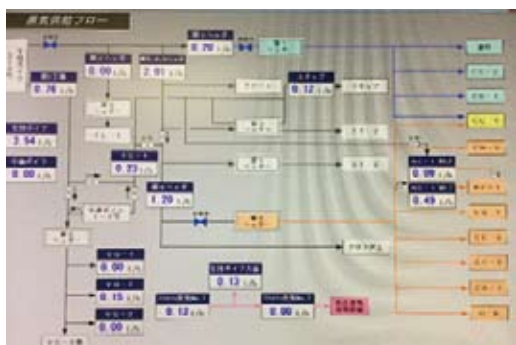
## 環境負荷低減のために ～省エネルギー活動～

### ●蒸気使用量の見える化

滋賀工場では、熱エネルギーとしてボイラー蒸気を利用しています。蒸気流量の計測結果を管理装置で逐次モニターし、蒸気使用量の管理を行っています。

各エリアの蒸気需要を予測し、エネルギーロスの削減等に活用しています。

(2019年2月更新)



## 環境負荷低減のために ～モニタリング～

### ●排水処理設備の IOT 化

滋賀工場の排水処理設備に監視装置・遠隔操作装置・警報連絡装置を導入しました。これらによる監視・調整を遠隔で行うことで、異常時の迅速な対応が可能となり、環境リスクの低減を図ることができました。

(2018年4月更新)



排水処理設備エリア監視画面



処理水量等遠隔操作画面



警報確認画面



警報詳細確認画面





## 2018 年度環境活動

### 環境負荷低減のために ～省エネルギー活動～

#### ● J-クレジット制度※活用

滋賀工場では、ボイラーの燃料転換により削減したCO<sub>2</sub>量を、J-クレジット制度を活用して2018年度に売却しました。効果的に温室効果ガスの排出量削減を行いました。

※J-クレジット制度：省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度。



## 2018 年度環境活動

### 地域とともに

#### ●ゴミゼロ清掃活動

滋賀県が環境美化の日と定める 5 月 30 日（ゴミゼロの日）の前後に清掃活動を毎年行っています。

滋賀工場に隣接する国道 306 号線沿いの清掃活動を 5 月 30 日に実施しました。



滋賀県が環境美化の基準日と定める 12 月 1 日の前後に、多賀町主催で芹川兩岸の清掃活動が毎年行われています。

滋賀工場もこの活動に協力し、12 月 1 日の清掃活動に参加しました。



## 2018 年度環境活動

### 地域とともに

#### ●ダイニックアストロパーク天究館（滋賀工場内）

滋賀工場内にある天文台「ダイニックアストロパーク天究館」では、天究館の天体望遠鏡を使用した観望会を行っています。

多賀町と協力し、近隣住民の方々やその他多くの皆様に親しんでいただくことを目的として「星空☆自然かんさつ会」を2018年度は3回開催し、多数の来場者でにぎわいました。

この他、町内のご要望に応じて小型天体望遠鏡を各地へ運び「移動観望会」も行っています。

参加費無料!!  
事前申込不要

### 星空☆自然かんさつ会

～夏休みに、星空から環境について考えよう～

毎年の恒例行事となっています「星空・自然かんさつ会」を、今年も開催します!  
星空を見上げたり自然に触れたりすることで、環境について考え、学ぶ機会を提供できればと考えています。どなたでもご参加いただけますので、ご家族そろってぜひお越しください。

と き	と ころ
平成30年7月24日(火)	ダイニック アストロパーク天究館
平成30年8月8日(水)	
平成30年8月23日(木)	

19:30~21:30  
(受付 19:00~)





# 『環境報告書2019』

発行：ダイニック株式会社 環境推進室

発行日：2019年8月9日